

教育・文化

地域と一体となった学校の環境づくりを

津本裕子議員(公明) ①学校行事に参加する地域の人が日常的に果たす役割について、今後の展望も踏まえた見解は。

②多くの保護者から中学校スクールカウンセラーに常駐してほしいとの要望があるが、現状認識と展望は。

③花小金井南中学校の校庭は砂じん被害もことから、質の改善要望が多くあるが、どう受けとめ対応するのか。

小平第十三小学校 校庭芝生化

佐野郁夫議員(政和) ①これまでの経緯は。

②今回の芝生化に反対している市民がいるが、その理由は。

③今後の工事スケジュールは、いつまでか。

④今後、校庭芝生化をどう進めていくのか。

教育長 ①本年2月に第十三小学校を第一候補に選定し、国庫補助申請の手続きを進めてきた。6月に保護者等を対象に、7月には校庭開放利用団体に説明し、その後保護者や地域住民に工事の説明を行った。また、8月以降、学校、PTA、校庭開放利用団体の代表者等を構成員として、維持管理方法や安全対策等について、意見を交換する場を設けている。

西 克彦議員(共産) ①第六小学校校庭の一部芝生化の経過はどうであったのか。

②第十三小学校の芝生化は、学校、保護者、グラウンド利用団体等との協議を先行して行うべきではなかったか。

③毎年、小・中学校から出されているグラウンド整備等に関する要望の内容は。

教育長 ①芝生化を校長に打診したところ、協力が得られ、新たに芝生に関するボランティア

ア組織が確立された。平成16年に業者、児童、ボランティア等が協働して夏芝を植えつけ、良好な状態で生育している。

②予算成立後、速やかに学校説明会を実施した。今後も適切な情報提供に努めたい。

③平成17年度の要望は、校庭整備が6校から、スプリングクールの設置が10校から出された。

子どもたちが地域の学校でともに学べる環境を

苗村洋子議員(緑系) ①障がいのある子どもたちが、通常学級でサポートを受けながらともに学べる環境をつくるのが必要と考えるが、サポート体制は。

②介助員の制度化などについて検討していることは。

③特別支援教育に対する準備状況は。

教育長 ①平成16年度から週に1回の介助員を配置している。保護者の要望などを聞き、臨時職員を配置しており、負担が軽減していると認識している。

②今後、保護者や専門家、学校関係者を含めた検討委員会を立ち上げる予定であり、ここでの意見や提案を受け、方向性や方策を検討したい。

③現在、法改正等は示されておらず、今後も国や都の動向に注目していく。市では、各学校に特別支援教育コーディネーターを置き、この教員を中心に校内体制の整備を進めている。

学校図書館を活用し、子どもを生かした教育を

立花隆一議員(公明) ①文字・活字文化振興法に明記された「司書教諭及び学校図書館に関する業務を担当するその他の職

教育長 ①学力については、授業改善推進プランの作成及び実施等を通じて向上を図ってきた。今後も学習指導の充実を図っていく。心の教育については、豊かな心の育成を目指し、社会性や規範意識の育成に努めてきた。今後も全教育活動を通して心の教育の一層の推進を図りたい。

②特色ある総合的な学習の時間を実施するなど、徐々に成果を上げていく。課題は基礎的な内容の一層の定着等である。

③全体として上位に位置する。④多様な児童・生徒への対応が一つの課題である。

⑤国等の補助を受けるため、市の一般財源の支出が抑制される。効果としては、けがの減少、砂じんの防止等多数あり、費用対効果は高いと考える。

第30回小平市民まつり

小林秀雄議員(フオ) ①本年は市民まつりが30回目の節目を迎えるが、始まった経緯は。

②今までに市民まつりに貢献した人を表彰できないか。

③今回、特別企画はあるか。

④市民が1人でも多く参加するための方策は。

市長 ①旧村ごとに行われていた祭りのみこしを一堂に集め、新しいふるさとづくりを目指し、大勢の人でにぎわう、ここの市民まつり

平和のための戦争展に対する教育委員会の後援は問題では

鴨打喜久男議員(政和) ①教育委員会の協賛、後援、推薦に対する承認基準は。

②どのような団体に協賛、後援等を出すのか。件数と区分は。

③展示内容の一部が政治活動の宣伝の場になっているように思えるが、後援名義等使用承認事務要綱に違反しないか。

④名義使用承認については、どのように審査するのか。

教育長 ①要綱で定めており、主催者は官公庁、公益法人及びこれに準ずる団体等である。事業内容は広く市民を対象とし、私的な利益を目的としているもの等は承認しない。

②平成16年度は学校及び学校の連合体が10件、民間企業または団体が43件など合計66件で、すべて後援名義である。

③趣旨が承認基準に適合するものとして承認した。

④申請書等の提出を受けた所管課長が基準に適合しているかを調査し、教育庶務課長が検討、協議をする。そして、教育委員会事務局会議に付議し、教育長が決定する。

みどりの公募債の活用で緑の保全を

立花隆一議員(公明) ①市長が公約の中で提案した、小平みどり債の内容と検討状況は。

②清瀬市や八王子市が公募債の導入に至った経過と効果は。

③生態系を守るという観点から、緑のネットワークの考えを導入できないか。

市長 ①緑の保全のために樹林地の購入等を対象とした市民対象の公募債である。将来の実施に向けて、他市から資料を収集し、発行方法や経費などの研究

公園緑地の現状と課題

佐野郁夫議員(政和) ①借地している公園の数と面積は。

②市が用地を買い取る場合の判断基準や条件は。

③今後新たに借地で公園を設置する計画はないか。

④都市計画公園の整備率と今後の見通しは。

⑤公園緑地の減少を食い止めるための方策は。

市長 ①有償、無償を含め11か所、2万2千7百6平方メートル。②基本的には買い取る考えで対応しているが、公園配置状況や国の補助金の有無、市の財政状況等により判断している。

③新たな計画はない。

④整備率は約41%で、来年度に小川町二丁目地域センター公園、延命寺公園の一部を整備する予定である。

⑤公有地化が大前提と考えているが多額の費用が必要のため、補助金の確保に努めるとともに、市民公募債も考えていきたい。

公園緑地の現状と課題

だけ多くの桜を望むが、玉川上水が国の史跡にも指定されたことから、都は自然木も含め玉川上水の保全方法について検討する予定である。今後、山桜の復活を望む人や自然保護団体などからの意見を受け、都へ要望していく。



学校図書館検索システムの入力作業(第六小学校)

教育長 ①学力については、授業改善推進プランの作成及び実施等を通じて向上を図ってきた。今後も学習指導の充実を図っていく。心の教育については、豊かな心の育成を目指し、社会性や規範意識の育成に努めてきた。今後も全教育活動を通して心の教育の一層の推進を図りたい。

②特色ある総合的な学習の時間を実施するなど、徐々に成果を上げていく。課題は基礎的な内容の一層の定着等である。

③全体として上位に位置する。④多様な児童・生徒への対応が一つの課題である。

⑤国等の補助を受けるため、市の一般財源の支出が抑制される。効果としては、けがの減少、砂じんの防止等多数あり、費用対効果は高いと考える。

平和のための戦争展に対する教育委員会の後援は問題では

鴨打喜久男議員(政和) ①教育委員会の協賛、後援、推薦に対する承認基準は。

②どのような団体に協賛、後援等を出すのか。件数と区分は。

③展示内容の一部が政治活動の宣伝の場になっているように思えるが、後援名義等使用承認事務要綱に違反しないか。

④名義使用承認については、どのように審査するのか。

教育長 ①要綱で定めており、主催者は官公庁、公益法人及びこれに準ずる団体等である。事業内容は広く市民を対象とし、私的な利益を目的としているもの等は承認しない。

②平成16年度は学校及び学校の連合体が10件、民間企業または団体が43件など合計66件で、すべて後援名義である。

③趣旨が承認基準に適合するものとして承認した。

④申請書等の提出を受けた所管課長が基準に適合しているかを調査し、教育庶務課長が検討、協議をする。そして、教育委員会事務局会議に付議し、教育長が決定する。

みどりの公募債の活用で緑の保全を

立花隆一議員(公明) ①市長が公約の中で提案した、小平みどり債の内容と検討状況は。

②清瀬市や八王子市が公募債の導入に至った経過と効果は。

③生態系を守るという観点から、緑のネットワークの考えを導入できないか。

市長 ①緑の保全のために樹林地の購入等を対象とした市民対象の公募債である。将来の実施に向けて、他市から資料を収集し、発行方法や経費などの研究

公園緑地の現状と課題

佐野郁夫議員(政和) ①借地している公園の数と面積は。

②市が用地を買い取る場合の判断基準や条件は。

③今後新たに借地で公園を設置する計画はないか。

④都市計画公園の整備率と今後の見通しは。

⑤公園緑地の減少を食い止めるための方策は。

市長 ①有償、無償を含め11か所、2万2千7百6平方メートル。②基本的には買い取る考えで対応しているが、公園配置状況や国の補助金の有無、市の財政状況等により判断している。

③新たな計画はない。

④整備率は約41%で、来年度に小川町二丁目地域センター公園、延命寺公園の一部を整備する予定である。

⑤公有地化が大前提と考えているが多額の費用が必要のため、補助金の確保に努めるとともに、市民公募債も考えていきたい。

公園緑地の現状と課題

だけ多くの桜を望むが、玉川上水が国の史跡にも指定されたことから、都は自然木も含め玉川上水の保全方法について検討する予定である。今後、山桜の復活を望む人や自然保護団体などからの意見を受け、都へ要望していく。



第30回小平市民まつり

平和のための戦争展に対する教育委員会の後援は問題では

鴨打喜久男議員(政和) ①教育委員会の協賛、後援、推薦に対する承認基準は。

②どのような団体に協賛、後援等を出すのか。件数と区分は。

③展示内容の一部が政治活動の宣伝の場になっているように思えるが、後援名義等使用承認事務要綱に違反しないか。

④名義使用承認については、どのように審査するのか。

教育長 ①要綱で定めており、主催者は官公庁、公益法人及びこれに準ずる団体等である。事業内容は広く市民を対象とし、私的な利益を目的としているもの等は承認しない。

②平成16年度は学校及び学校の連合体が10件、民間企業または団体が43件など合計66件で、すべて後援名義である。

③趣旨が承認基準に適合するものとして承認した。

④申請書等の提出を受けた所管課長が基準に適合しているかを調査し、教育庶務課長が検討、協議をする。そして、教育委員会事務局会議に付議し、教育長が決定する。

みどりの公募債の活用で緑の保全を

立花隆一議員(公明) ①市長が公約の中で提案した、小平みどり債の内容と検討状況は。

②清瀬市や八王子市が公募債の導入に至った経過と効果は。

③生態系を守るという観点から、緑のネットワークの考えを導入できないか。

市長 ①緑の保全のために樹林地の購入等を対象とした市民対象の公募債である。将来の実施に向けて、他市から資料を収集し、発行方法や経費などの研究



緑に囲まれた公園で楽しく(新小平公園)

公園緑地の現状と課題

佐野郁夫議員(政和) ①借地している公園の数と面積は。

②市が用地を買い取る場合の判断基準や条件は。

③今後新たに借地で公園を設置する計画はないか。

④都市計画公園の整備率と今後の見通しは。

⑤公園緑地の減少を食い止めるための方策は。

市長 ①有償、無償を含め11か所、2万2千7百6平方メートル。②基本的には買い取る考えで対応しているが、公園配置状況や国の補助金の有無、市の財政状況等により判断している。

③新たな計画はない。

④整備率は約41%で、来年度に小川町二丁目地域センター公園、延命寺公園の一部を整備する予定である。

⑤公有地化が大前提と考えているが多額の費用が必要のため、補助金の確保に努めるとともに、市民公募債も考えていきたい。